



7/29(土)練習試合 マネージャーレポート(A戦)

相手校は、ハンドオフやスクリーンを使ってパスを回したり、ドリブルで突破する攻め方が多い印象でした。ボール運びの際もディフェンスが厳しければスクリーンを使って突破したりと臨機応変に対応していました。また、オフェンスの能力が高く、1on1での突破力も高かったです。

本校は、前から詰めた良いディフェンスやリバウンドルーズなど泥臭いプレーから流れを掴み、オフェンスにも繋げることが出来ました。

速攻で簡単に点数を稼がせてしまうというミスもほとんど無く、ベンチの盛り上がりも試合に良い流れを持ってくるきっかけとなりました。

ですが、トラベリングやファウルなど基本的な部分でのミスが多く見られました。また、リバウンドのときにコンタクトが足りないという反省もありました。どれも改善できるものだと思うので改善し、もっと深い部分での課題を改善していけるよう練習に取り組みます。ディフェンスでは、前で割られてしまうことがあったので前で割られずにタフについていけると良いと思いました。オフェンスでは、単発なショットが多かったのでチームでのプレーを増やしていけると良いと思います。シュートについてファウルをもらってもフリースローを決め切れない場面がいくつかあり、そこも改善できる部分だと思うので、日々の練習から取り組んでいきます。

オフボールディフェンスにもこだわりを持ち、ハードワーク、リバウンドルーズを徹底する事でさらに良いチームになっていくと思います。様々な面でこだわりを大切にしながらこれからの練習に励んでいけると良いと思いました。